

評価料金等（新築住宅）

1 一戸建て住宅

(1) 一戸建て住宅の設計住宅性能評価料金（新築住宅）

ア 木造 2 階建て以下 単位：円（税別）

延べ床面積	設計住宅性能評価	変更設計住宅性能評価 (当機関が設計住宅性能評価を行なっている場合)
200 m ² 未満	44,000	22,000
200 m ² 以上 500 m ² 未満	54,000	27,000

イ 木造 3 階建て 単位：円（税別）

延べ床面積	設計住宅性能評価	変更設計住宅性能評価 (当機関が設計住宅性能評価を行なっている場合)
200 m ² 未満	54,000	27,000
200 m ² 以上 500 m ² 未満	64,000	32,000

ウ S 造、RC 造 2 階建て以下 単位：円（税別）

延べ床面積	設計住宅性能評価	変更設計住宅性能評価 (当機関が設計住宅性能評価を行なっている場合)
200 m ² 未満	54,000	27,000

※上記の面積・階数以外の場合または地階がある場合は、別途見積りとする。

※上記は、【必須項目】の料金とする。【選択項目】については、(4) の料金を加算する。

(2) 一戸建て住宅の建設住宅性能評価料金（新築住宅）

単位：円（税別）

延べ床面積	建設住宅性能評価 (当機関が設計住宅性能評価を行なっている場合)
200 m ² 未満	96,000
200 m ² 以上 500 m ² 未満	104,000

※上記の面積以外の場合または地階がある場合は、別途見積りとする。

※建設住宅性能評価で当機関以外の機関が設計住宅性能評価を行なっている場合は、別途見積りとする。

※変更建設住宅性能評価の金額は、当機関が建設住宅性能評価を行なっている場合は、変更設計住宅性能評価と同額とする。

※上記は、【必須項目】の料金とする。【選択項目】については、(4) の料金を加算する。

※出張費は、別表 4 とする。

(3) 一戸建て住宅の再検査料金（1 回当たり）

単位：円（税別）

延べ床面積	再検査（検査 1 回当たり）
200 m ² 未満	24,000
200 m ² 以上 500 m ² 未満	26,000

※上記の面積以外の場合は、別途見積りとする。

※出張費は、別表 4 とする。

(4) 一戸建て住宅の選択項目に係る加算料金

ア 設計住宅性能評価加算額

単位：円（税別）

1 構造の安定に関する事	1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止）	2,000
	1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）	
	1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）	
2 火災時の安全に関する事	2-1 感知警報装置設置等級（自住戸火災時）	1,000
	2-4 脱出対策（火災時）	
	2-5 耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部））	
	2-6 耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部以外））	
5 温熱環境・エネルギー消費量に関する事	5-2 一次エネルギー消費量等級	2,000
6 空気環境に関する事	6-1 ホルムアルデヒド対策（内装及び天井裏）	1,000
	6-2 換気対策	
7 光・視環境に関する事	7-1 単純開口率	1,000
	7-2 方位別開口比	
8 音環境に関する事	8-4 透過損失等級（外壁開口部）	2,000
9 高齢者等への配慮に関する事	9-1 高齢者等配慮対策等級（専用部分）	1,000
10 防犯に関する事	10-1 開口部の侵入防止対策	1,000

イ 建設住宅性能評価加算額

単位：円（税別）

1 構造の安定に関する事	1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止）	2,000
	1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）	
	1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）	
2 火災時の安全に関する事	2-1 感知警報装置設置等級（自住戸火災時）	1,000
	2-4 脱出対策（火災時）	
	2-5 耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部））	
	2-6 耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部以外））	
5 温熱環境・エネルギー消費量に関する事	5-2 一次エネルギー消費量等級	2,000
6 空気環境に関する事	6-1 ホルムアルデヒド対策（内装及び天井裏）	1,000
	6-2 換気対策	
7 光・視環境に関する事	7-1 単純開口率	1,000
	7-2 方位別開口比	
8 音環境に関する事	8-4 透過損失等級（外壁開口部）	2,000
9 高齢者等への配慮に関する事	9-1 高齢者等配慮対策等級（専用部分）	1,000
10 防犯に関する事	10-1 開口部の侵入防止対策	1,000

※6・3～5は、別表4参照

2 共同住宅等

(1) 共同住宅等の設計住宅性能評価料金（新築住宅）

単位：円（税別）

延べ床面積	設計住宅性能評価	変更設計住宅性能評価 (当機関が設計住宅性能評価を行なっている場合)
200 m ² 未満	75,000+5,000×M	36,000+5,000×M
200 m ² 以上 500 m ² 未満	110,000+5,000×M	44,000+5,000×M
500 m ² 以上 1,000 m ² 未満	150,000+5,000×M	60,000+5,000×M
1,000 m ² 以上 1,500 m ² 未満	210,000+5,000×M	84,000+5,000×M
1,500 m ² 以上 2,000 m ² 未満	270,000+5,000×M	108,000+5,000×M
2,000 m ² 以上 3,000 m ² 未満	500,000+5,000×M	200,000+5,000×M
3,000 m ² 以上 5,000 m ² 未満	650,000+5,000×M	260,000+5,000×M
5,000 m ² 以上 7,500 m ² 未満	900,000+5,000×M	360,000+5,000×M
7,500 m ² 以上 10,000 m ² 未満	1,100,000+5,000×M	440,000+5,000×M
10,000 m ² 以上 15,000 m ² 未満	1,600,000+5,000×M	640,000+5,000×M
15,000 m ² 以上 20,000 m ² 未満	1,900,000+5,000×M	760,000+5,000×M

※Mは評価対象住戸数とする。

※延べ床面積 20,000 m²以上については、別途見積りとする。

※上記は、【必須項目】の料金とする。【選択項目】については、(5)の料金を加算する。

※変更設計住宅性能評価で直前の設計評価を当機関以外の機関で行なっている場合は、設計住宅性能評価の金額とする。

(2) 共同住宅等の建設住宅性能評価料金（新築住宅）

単位：円（税別）

延べ床面積	建設住宅性能評価 (当機関が設計住宅性能評価を行なっている場合)
200 m ² 未満	140,000+10,000×M
200 m ² 以上 500 m ² 未満	160,000+10,000×M
500 m ² 以上 1,000 m ² 未満	300,000+10,000×M
1,000 m ² 以上 1,500 m ² 未満	400,000+10,000×M
1,500 m ² 以上 2,000 m ² 未満	500,000+10,000×M
2,000 m ² 以上 3,000 m ² 未満	600,000+10,000×M
3,000 m ² 以上 5,000 m ² 未満	740,000+10,000×M
5,000 m ² 以上 7,500 m ² 未満	1,200,000+10,000×M
7,500 m ² 以上 10,000 m ² 未満	1,500,000+10,000×M
10,000 m ² 以上 15,000 m ² 未満	1,800,000+10,000×M
15,000 m ² 以上 20,000 m ² 未満	2,100,000+10,000×M

※Mは評価対象住戸数とする。

※延べ床面積 20,000 m²以上については、別途見積りとする。

※建設住宅性能評価で当機関以外の機関が設計住宅性能評価を行なっている場合は、別途見積りとする。

※上記は、【必須項目】の料金とする。【選択項目】については、(5)の料金を加算する。

※変更建設住宅性能評価の金額は当機関が建設住宅性能評価を行なっている場合は、変更設計住宅性能評価と同額とする。

※変更建設住宅性能評価で直前の建設住宅性能評価を当機関以外の機関で行なっている場合は、建設住宅性能評価の金額とする。

※出張費は、別表4とする。

(3) 階層数による建設住宅性能評価の割増

階層（地階を含む）	割増率（%）
1～3	0
4～9	10
10～16	20
17～23	25
24～30	30
31～	40

(4) 共同住宅等の再検査料金 (1回当たり)

単位：円 (税別)

延べ床面積	住棟・共用部	住戸
200 m ² 未満	28,000	6,000×M
200 m ² 以上 500 m ² 未満	32,000	6,000×M
500 m ² 以上 1,000 m ² 未満	60,000	6,000×M
1,000 m ² 以上 1,500 m ² 未満	80,000	6,000×M
1,500 m ² 以上 2,000 m ² 未満	100,000	6,000×M
2,000 m ² 以上 3,000 m ² 未満	120,000	6,000×M
3,000 m ² 以上 5,000 m ² 未満	148,000	6,000×M
5,000 m ² 以上 7,500 m ² 未満	240,000	6,000×M
7,500 m ² 以上 10,000 m ² 未満	300,000	6,000×M
10,000 m ² 以上 15,000 m ² 未満	360,000	6,000×M
15,000 m ² 以上 20,000 m ² 未満	420,000	6,000×M

※Mは評価対象住戸数とする。

※延べ床面積 20,000 m²以上については、別途見積りとする。

※出張費は、別表 4 とする。

(5) 選択項目に係る加算料金 (共同住宅等)

ア 設計住宅性能評価加算額

単位：円 (税別)

1 構造の安定に関する事	1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止)	2,000×M
	1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	
	1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	
2 火災時の安全に関する事	2-1 感知警報装置設置等級 (自住戸火災時)	1,000×M
	2-2 感知警報装置設置等級 (他住戸等火災時)	
	2-3 避難安全対策 (他住戸等火災時・共用廊下)	
	2-4 脱出対策 (火災時)	
	2-5 耐火等級 (延焼のおそれのある部分(開口部))	
	2-6 耐火等級 (延焼のおそれのある部分(開口部以外))	
	2-7 耐火等級 (界壁及び界床)	
4 維持管理・更新への配慮に関する事	4-4 更新対策 (住戸専用部)	1,000×M
5 温熱環境・エネルギー消費量に関する事	5-2 一次エネルギー消費量等級	2,000×M
6 空気環境に関する事	6-1 ホルムアルデヒド対策 (内装及び天井裏)	1,000×M
	6-2 換気対策	
7 光・視環境に関する事	7-1 単純開口率	1,000×M
	7-2 方位別開口比	
8 音環境に関する事	8-1 重量床衝撃音対策	2,000×M
	8-2 軽量床衝撃音対策	2,000×M
	8-3 透過損失等級(界壁)	1,000×M
	8-4 透過損失等級 (外壁開口部)	1,000×M
9 高齢者等への配慮に関する事	9-1 高齢者等配慮対策等級 (専用部分)	1,000×M
10 防犯に関する事	10-1 開口部の侵入防止対策	1,000×M

イ 建設住宅性能評価加算額

単位：円 (税別)

1 構造の安定に関する事	1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止)	2,000×M
	1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	
	1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	
2 火災時の安全に関する事	2-1 感知警報装置設置等級 (自住戸火災時)	1,000×M
	2-2 感知警報装置設置等級 (他住戸等火災時)	
	2-3 避難安全対策 (他住戸等火災時・共用廊下)	
	2-4 脱出対策 (火災時)	
	2-5 耐火等級 (延焼のおそれのある部分(開口部))	
	2-6 耐火等級 (延焼のおそれのある部分(開口部以外))	
	2-7 耐火等級 (界壁及び界床)	
4 維持管理・更新への配慮に関する事	4-4 更新対策 (住戸専用部)	1,000×M
5 温熱環境・エネルギー消費量に関する事	5-2 一次エネルギー消費量等級	2,000×M
6 空気環境に関する事	6-1 ホルムアルデヒド対策 (内装及び天井裏)	1,000×M
	6-2 換気対策	
7 光・視環境に関する事	7-1 単純開口率	1,000×M
	7-2 方位別開口比	
8 音環境に関する事	8-1 重量床衝撃音対策	2,000×M
	8-2 軽量床衝撃音対策	2,000×M
	8-3 透過損失等級(界壁)	1,000×M
	8-4 透過損失等級 (外壁開口部)	1,000×M
9 高齢者等への配慮に関する事	9-1 高齢者等配慮対策等級 (専用部分)	1,000×M
10 防犯に関する事	10-1 開口部の侵入防止対策	1,000×M

※Mは評価対象住戸数とする。

※6・3～5は、別表4参照

評価料金等（既存住宅）

1 一戸建て住宅の建設住宅性能評価料金（既存住宅）

(1) 現況検査（必須項目）

単位：円（税別）

延べ床面積	設計図書有	設計図書無	再検査（1回当たり）
200㎡未満	90,000	別途見積り	30,000
200㎡以上 500㎡未満	120,000	別途見積り	30,000

(2) 特定現況検査（選択項目）

単位：円（税別）

延べ床面積	設計図書有	設計図書無
200㎡未満	45,000	別途見積り
200㎡以上 500㎡未満	80,000	別途見積り

※設計図書、構造計算書無し、延べ床面積 500㎡以上については、別途見積りとする。

※特定現況検査は、現況検査及び個別性能評価と同時実施とする。

※出張費は、別表 4 とする。

(3) 個別性能評価（選択項目）

単位：円（税別）

評価項目		設計図書有	設計図書無	新築時に建設住宅性能評価書交付有
1 構造の安定に関する こと	1-1 耐震等級（構造躯体の倒壊等防止）	木造：60,000 木造以外：別 途見積り	別途見積り	20,000
	1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止）			
	1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）			
	1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）			
	1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法			
	1-7 基礎の構造方法及び形式等			
	1-3 その他（地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防 止）【免震建築物】			
2 火災時の 安全に関する こと	2-1 感知警報装置設置等級（自住戸火災時）	8,000	別途見積り	5,000
	2-4 脱出対策（火災時）			
	2-5 耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部））			
	2-6 耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部以外））			
3 劣化の軽 減に関する こと	劣化対策等級	木造：50,000 木造以外：別 途見積り	別途見積り	10,000
4 維持管 理・更新への 配慮に関する こと	4-1 維持管理対策等級（専用配管）	8,000	別途見積り	5,000
5 温熱環 境・エネルギ ー消費量に 関すること	5-1 断熱等性能等級	30,000	別途見積り	5,000
	5-2 一次エネルギー消費量等級	30,000	別途見積り	5,000
6 空気環 境に関する こと	6-2 換気対策	8,000	別途見積り	5,000
	6-3 室内空気中の化学物質の濃度等	別表 4 参照		
	6-4 石綿含有建材の有無等	別表 4 参照		
	6-5 室内空気中の石綿の粉じんの濃度等	別表 4 参照		
7 光・視環 境に関する こと	7-1 単純開口率	8,000	別途見積り	5,000
	7-2 方位別開口比			
9 高齢者等 への配慮に 関すること	9-1 高齢者等配慮対策等級（専用部分）	8,000	別途見積り	5,000
10 防犯に 関すること	10-1 開口部の侵入防止対策	8,000	別途見積り	5,000

2 共同住宅の建設住宅性能評価料金（既存住宅）

（1）現況検査

単位：円（税別）

延べ床面積	設計図書有	設計図書無
200㎡未満	90,000+45,000×M	別途見積り
200㎡以上 500㎡未満	180,000+45,000×M	別途見積り
500㎡以上 1,500㎡未満	210,000+45,000×M	別途見積り
1,500㎡以上 2,500㎡未満	240,000+45,000×M	別途見積り
2,500㎡以上 5,000㎡未満	290,000+45,000×M	別途見積り
5,000㎡以上 7,500㎡未満	340,000+45,000×M	別途見積り
7,500㎡以上 10,000㎡未満	390,000+45,000×M	別途見積り
10,000㎡以上 15,000㎡未満	490,000+45,000×M	別途見積り
15,000㎡以上 20,000㎡未満	590,000+45,000×M	別途見積り

※Mは専用部分住戸数とする。

※設計図書、構造計算書が無し、延べ床面積 20,000㎡以上については、別途見積りとする。

※出張費は、別表 4 とする。

（2）特定現況検査（選択項目）

※特定現況検査については、別途見積りとする。

※特定現況検査は、現況検査及び個別性能評価と同時実施とする。

（3）個別性能評価（選択項目）

単位：円（税別）

評価項目		設計図書有	設計図書無	新築時に建設住宅性能評価書交付有
1 構造の安定に関する こと	1-1 耐震等級（構造躯体の倒壊等防止）	木造：60,000 木造以外：別途見積り	別途見積り	20,000
	1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止）	-	-	
	1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）	-	-	
	1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）	-	-	
	1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	1-1 に含む	1-1 に含む	
	1-7 基礎の構造方法及び形式等	-	-	
	1-3 その他（地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）【免震建築物】	150,000	別途見積り	別途見積り
2 火災時の安全に関する こと	2-1 感知警報装置設置等級（自住戸火災時）	8,000/戸	別途見積り	5,000/戸
	2-2 感知警報装置設置等級（他住戸火災時）			
	2-3 避難安全対策（他住戸火災時・共用廊下）			
	2-4 脱出対策（火災時）			
	2-5 耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部））			
	2-6 耐火等級（延焼のおそれのある部分（開口部以外））			
3 劣化の軽減に関する こと	劣化対策等級	木造：50,000 木造以外：別途見積り	別途見積り	10,000
4 維持管理・更新への 配慮に関する こと	4-1 維持管理対策等級（専用配管）	8,000/戸	別途見積り	6,000/戸
	4-2 維持管理対策等級（共用配管）			
	4-3 更新対策（共用排水管）			
	4-4 更新対策（住戸専用部）			
5 温熱環境・エネルギー 消費量に関する こと	5-1 断熱性能等級	30,000/戸	別途見積り	10,000/戸
	5-2 一次エネルギー消費量等級	30,000/戸	別途見積り	10,000/戸
6 空気環境に関する こと	6-2 換気対策	8,000/戸	-	5,000/戸
	6-3 室内空気中の化学物質の濃度等	別表 4 参照		
	6-4 石綿含有建材の有無等	別表 4 参照		
	6-5 室内空気中の石綿の粉じんの濃度等	別表 4 参照		
7 光・視環境に関する こと	7-1 単純開口率	8,000/戸	別途見積り	5,000/戸
	7-2 方位別開口比			
9 高齢者等への配慮に関する こと	9-1 高齢者等配慮対策等級（専用部分）	8,000/戸	別途見積り	5,000/戸
	9-2 高齢者等配慮対策等級（共用部分）			
10 防犯に関する こと	10-1 開口部の侵入防止対策	8,000/戸	別途見積り	5,000/戸

(4) 再検査 (1回当たり)

単位：円 (税別)

延べ床面積	住棟・共用部	住戸
200㎡未満	30,000	45,000×M
200㎡以上 500㎡未満	60,000	45,000×M
500㎡以上 1,500㎡未満	70,000	45,000×M
1,500㎡以上 2,500㎡未満	80,000	45,000×M
2,500㎡以上 5,000㎡未満	97,000	45,000×M
5,000㎡以上 7,500㎡未満	120,000	45,000×M
7,500㎡以上 10,000㎡未満	130,000	45,000×M
10,000㎡以上 15,000㎡未満	165,000	45,000×M
15,000㎡以上 20,000㎡未満	200,000	45,000×M

※Mは評価対象住戸数とする。 ※延べ床面積 20,000㎡以上については、別途見積りとする。

※出張費は、別表4とする。

別表4 評価料金等 (その他共通事項)

1 出張費

単位：円 (税別)

距離	出張費	
	日当	交通費
15 km未満	0	0
15 km以上～30 km未満	0	2,000
30 km以上～50 km未満	0	3,000
50 km以上～100 km未満	5,000	4,000
100 km以上	10,000	実費

※宿泊が必要な場合、宿泊費は出張中の泊数に応じ、1名につき1泊あたり10,000円 (税別) とする。

※加算費用の距離の算定は、業務拠点から直線距離とし、当機関が決定する。

2 再交付の料金

単位：円 (税別)

住宅の品質確保に関する促進等に関する法律施行規則第4条第4項及び同第7条第4項に基づき、住宅性能評価書を再交付する場合	5,000/住戸
---	----------

3 建設住宅性能評価の化学物質濃度測定、石綿含有建材等

戸建、共同共通

単位：円 (税別)

評価項目	評価料金
6-3.室内空气中の化学物質の濃度等	別途見積り
6-4.石綿含有建材の有無等 (既存住宅のみ)	別途見積り
6-5.室内空气中の石綿の粉じんの濃度等 (既存住宅のみ)	別途見積り

※建材のサンプリングについては、申請書の指定する建材を採取・分析しますが、その際に発生する費用 (高所などの足場や工事費用など) 及び復旧・補修などにかかる費用は、申請者の負担とする。

※濃度測定の場所は、申請者の指定する箇所を実施しますが、現地において評価員又は検査担当者により適切な箇所を選定する場合があります。

※サンプリング試料の分析については、JISA1481 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法) により、室内空气中の濃度測定については、住宅性能表示の評価基準によります。